

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	頭司 孝弘	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3622		事務事業名称	仮称市民の美術館建設基金積立金					短縮コード	経常		臨時	3622
予算区分	会計	01	一般会計	款	12	諸支出金	項	01	基金費	目	03	仮称市民の美術館建設基金費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		仮称八千代市市民の美術館建設基金条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和54年4月 昭和60年9月 昭和63年12月 平成2年3月		仮称八千代市市民の美術館建設基金条例の施行により、仮称八千代市市民の美術館建設に要する費用に充てる基金が設置される。 八千代市文化問題懇談会により市民の美術館構想の提言を受ける。 市民の美術館基本構想の策定に向けた八千代市市民の美術館構想懇談会が設置される。 (仮称) 八千代市市民の美術館基本構想が策定される。											
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
市の財政状況が厳しい中、仮称八千代市市民の美術館建設基金の使い道の検討が必要となる。					大項目（節）	03	第3節文化						
					中 項 目	01	1. 市民文化						
					小 項 目	02	(2)文化芸術施設の整備・充実						
					細 項 目	99	文化芸術施設の整備・充実(細項目なし)						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	仮称八千代市市民の美術館建設基金							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 市民の美術館建設基金で生じた利子を，基金に積み立てた。							
	※平成24年度に計画していること： 23年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	利子を積み立てて，仮称八千代市市民の美術館建設のための財源を確保する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	年度当初の仮称八千代市市民の美術館建設基金現在高	円	502,117,029	503,935,941	503,935,941	505,857,952	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	運用によって得た利子の積立額	円	1,818,912	1,853,000	1,922,011	608,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	基金積立金	円	503,935,941	505,788,941	505,857,952	506,465,952	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3622	事務事業名称	仮称市民の美術館建設基金積立金			所属名	文化・スポーツ課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円					
		その他	千円	1, 819	1, 853	1, 923	608	
	主な事業費の内訳			積立金1, 819千円	積立金1, 853千円	積立金1, 923千円	積立金 608千円	
人件費 (B)			千円	42. 7	42	42	209. 8	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	1, 861. 7	1, 895	1, 965	817. 8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由										
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	基金を利用し、仮称八千代市市民の美術館を建設することは、上位の施策「文化芸術施設の整備・充実」に結び付いている。										
			☐ 結び付くが見直しの余地がある											
			☐ 結びつきが弱い・ない											
			☐ 評価対象外事項											
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	仮称八千代市市民の美術館が建設されていないため。										
			☒ 達成していない											
			☐ 評価対象外事項											
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	仮称八千代市市民の美術館建設基金積立業務は、市の事務として行うものである。										
			☒ 可能性はない											
			☐ 評価対象外事項											
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で結果に結び付く。											
		☐ 見直す必要がある												
		☐ 評価対象外事項												
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	今後も積立金の確保に努める。										
			☐ 効率性向上の可能性はある											
			☐ 両方可能性はある											
			☒ 可能性がない											
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等											
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用											
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し											
			☐ 受益者負担の見直し											
			☐ 類似事業との統合・役割見直し							類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法								2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある											
			☐ ない											

コード	3622	事務事業名称	仮称市民の美術館建設基金積立金			所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			仮称八千代市市民の美術館建設基金の目的に即した管理を行っていくため。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状のまま継続していくため，コスト及び成果については不変
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
基金を使う事業について，仮称八千代市市民の美術館の建設費用だけでなく，美術品の収集等にも基金を活用できないかという意見があった。							

所属長コメント	現在の経済状況では，利子による積立金の大幅な増額は見込めない。今後は，基金の活用について検討していく。						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。			
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							